

5. 和束町の民俗調査

上杉 和央

本年度調査のうち、「滝祭り」「おしよらいさん」についての調査概要を報告する。

1. 滝祭り

2024 年（令和 6）7 月 28 日に南区の「滝さんまつり」の調査をおこなった。参加者は南区の役員 6 名と正法寺住職である。滝口には「お不動さん」（不動明王）が祀られており、13 時 45 分頃より住職による読経がなされた。お不動さんには集落の有志の女性らが毎月掃除に来ているとのことである。

2024 年 9 月 1 日は門前区寺垣内の「不動講」の調査をおこなった。寺垣内の組内で創る不動講が、集落上流部にある「お不動さんの滝」にて毎年実施しているものである。日程は 8 月末～9 月初旬の土日とされ、決まっているわけではない。当日の参加者は 10 名と大興寺住職である。13 時過ぎより 30 分程度、住職による護摩焚きがおこなわれ、その間、参加者たちは般若心経を唱えていた。お不動さんは 1953 年（昭和 28）の水害で一度失われたが、今から 30～35 年ほど前に、改めてお不動さんを安置し、不動講を再開させたという。

2. おしよらいさん

2024 年 8 月 13 日および 16 日に湯船区上村の「おしよらいさん」について、調査をおこなった。各家庭で少しずつ違っているが、一般的な内容としては次のようにまとめられる。

13 日 お迎え・法要…夕方に「たいまつ（松明）」にて「おむかえ」をおこなう。迎える場所は屋敷前・角が多い。以前は住職が夕方に回ってきていたが、現在は午前中にくるため、「まだ迎えていないうちに御師さんが来る」ようになった。

14 日（善光寺参り）…14 日に「おしよらいさん」は善光寺に参るという。長野の善光寺である。

15 日 施餓鬼・お送り…西願寺で「せがき（施餓鬼）」がおこなわれ、その後、夕方に「たいまつ」にて「おおくり」をおこなう。送る場所は迎える場所と同一。西願寺で施餓鬼供養があり、そこでただし、現在は西願寺の施餓鬼が 16 日にあるため、お送りを 16 日におこなう家もある。

なお、各家庭では仏壇に盆棚を設け膳を供えるが、「ころころ」と呼ばれる団子が特徴的である。また、軒下に「がきさん」用の膳も供える家庭も見られた。

編集後記

余裕をもって仕事に取り組みたい。一つ仕事が終わる度に今度こそはと思うが、今回も果たせなかった。文字通りバタバタ。年末から長い師走が続いている。一つの救いは、春からのフィールドワークに始まり、冬の集報に終わるこの一連の営みが、10号を越え、府大歴史学科の伝統として根付きつつあること。フィールドをご提供いただいた関係各所のご厚意に深く感謝申し上げたい。

なお本書の組版作業は、歴史学科文化遺産学コースの合同実習メニューとして学部生がAdobe社のInDesignを利用しておこなっているが、もちろんそのままでは本にはならない。一書にまとめるにあたって力を尽くしてくれた大学院生の頑張りにも深く感謝したい。(い)

京都府立大学文学部歴史学科

フィールド調査集報 第11号

編集・発行 京都府立大学文学部歴史学科

〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5

発行日 2025年3月31日

印刷 株式会社 北斗プリント社

〒606-8540 京都市左京区下鴨高木町38-2
